

「福祉住環境コーディネーター検定試験[®]」に関するアンケートの集計について

東日本建築教育研究会
教材委員会

I. アンケート実施の背景

平成14年度に、資格取得推進委員会より「工業高校生にどのような資格が必要と思われるか」との内容に関するアンケートが実施された際の回答に「建築士」(2級、木造)と共に「福祉住環境コーディネーター試験[®]」の名前が示されていました。そこで、今回はこの「福祉住環境コーディネーター試験[®]」に対する各学校の取組みの様子や試験の認知度を調査する目的でこのアンケートを実施致しました。しかし、このアンケートの実施にあたり不十分な点が多く、会員各校の先生方に誤解を招く結果となってしまったことを深く反省致します。

現段階では、この試験を東日本建築教育研究会として奨励したり、受験を推し進める段階に無いことを再確認致します。しかし、時流に沿った建築教育に取り組む必要性もあり、建築従事者の根幹資格である「建築士」受験指導と併せて、福祉分野と建築分野の相互補完する時勢でもあることは否めません。教材委員会や資格取得推進委員会では、まず実態調査の第1歩をこのアンケート調査により踏み出したところであることをご理解ください。これからの高齢社会の当事者となる高校生に、高齢社会に求められる住環境の指導の必要性を探りつつこの試験の高校生に対する有益性を模索しながら試験内容や実践校の紹介を通して広く情報を発信していきたいと考えています。今後も引き続き、研究会としての取組みの是非についての判断材料を提供させて頂き、改めて是非を問わせて頂きたいと思えます。

II. 「福祉住環境コーディネーター試験[®]」の背景

住まいづくりは、単なる「器」づくりから「生活支援としての住まい」づくりに変わっています。この生活支援としての住まいづくりというのは、従来の住宅とは基本的に全く違う側面を持っています。

これまでの住宅というのは、住宅を買う人はこういう家を求めている、お風呂はこういうユニットバスなどの設備があればよいという「つくる側」の論理で造られてきたのですが、これからの住宅は、「一人ひとりの身体ニーズ」、「一人ひとりのライフスタイル」、「一人ひとりの生活ニーズ」に応じた住まいで、身体状況・暮らし方・家族構成によりそれぞれ違った家が求められています。

これからは個々のニーズに応じて、かつ必要な福祉用具・サービス・介護を結びつけるなど一人ひとりの生活に対してコーディネートするという仕事が、今の時代に求められています。また、不特定多数の人に情報を提供するのではなく、一人ひとりのニーズに応えるために、ケース・バイ・ケースのコーディネートの仕組みと技術を持っている人材が必要となってきています。

さらに、この試験で学習する内容は、高齢社会に対応すべく世の中の仕組みも大きく変わりつつある条件の中で、超高齢社会の当事者となる高校生に対して、今後の生活に必要な知識とともに建築に対する新たな考え方にも関係する内容であり、ただ単に**資格試験に対する対策講義としてではなく、超高齢社会に対する認識や考え方の基礎として取り扱う**ことができれば教材委員会では考えています。そして、これらの内容を学んだ結果として検定試験に合格できれば更に学習の意欲が高まるものと考えます。

Ⅲ. 「福祉住環境コーディネーター検定試験®」に関する調査」の集計結果

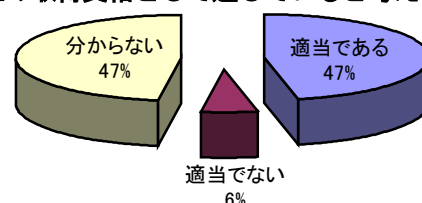
「福祉住環境コーディネーター検定試験®」に関する調査集計結果

2004.2.24 集計

この度のアンケートに対して、91校からの回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。
アンケートの集計結果を以下に示します。

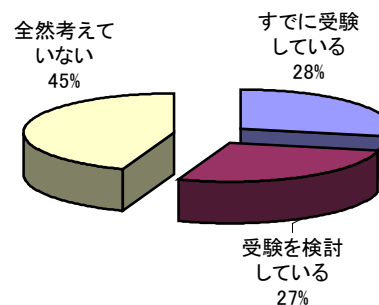
A 貴校では「福祉住環境コーディネーター検定試験®」が、高校生の取得資格として適していると考えていますか。

- 1) 適当である 41校
- 2) 適当でない 5校
- 3) 分からない 42校



B 貴校の「福祉住環境コーディネーター検定試験®」への取り組みについて伺います。

- 1) すでに受験している 26校
- 2) 受験を検討している 25校
- 3) 全然考えていない 41校



『1)に関する意見』

- *医療言語が多く難しいと考える。
- *今年度希望者を対象に補習を行なう予定

『2)に関する意見』

- *3級、2級
- *先ず検討をしたい。
- *授業の中で行うか、授業かなどについてこれから検討する。
- *学習することを先行し、受験は未定。
- *問題内容がもう少し分かればその後検討したい。
- *学年・時期・対象・取組み形態（今後検討を進める）
- *難易度が高い
- *受験講習を行い、理解の程度を見ている。
- *外部講師を考えている。
- *難しいと思わせないこと。
- *11月から本格的に受験します。
- *今年度から受験する（H15.11.23受験）
- *今年度希望者を対象に補習を行う予定
- *来年度課題研究で
- *資格を取得させる事は大いに歓迎であるが、資格の数が多く生徒が多数受験しているのでは、本校の生徒にレベル的に合っているのか十分検討しているところです。
- *就職や進学をするにあたり、資格を取得していると有利な面があるということで、11月に行われる分から希望者のみ受験させたいと考えています。
- *放課後補習を実施した上で受験させようと考えている。
- *施工技術者試験が中止になった場合の代替えとして。
- *今年度の課題研究で3年生が4名取り組み、11月に受験予定。
- *数名受験したいと申し出たが、科として対応はしていない。個人で対応（たぶん誰も受験しないと思われる。）
- *総合学科の福祉コースで考えている。来年度より建築デザインコースになります。デザインコースとして、インテリアコーディネーターを受験させようと考えています。

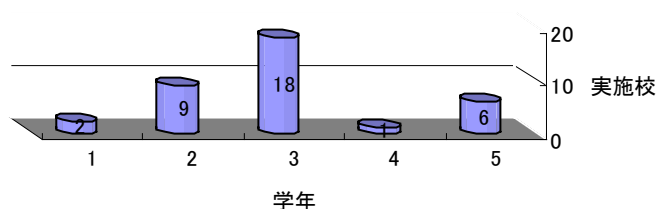
- *教員がまだ資格の内容について十分理解していないので、これから資格について研究し受験について検討する
- *受験を実施する時期（カリキュラムとの関係など）、受験の形態（全員受験、希望者のみ）、補習等
- *今後、試験内容を検討していきたい。
- *資格の内容が不明（未調査）のため現状では良く分かりませんが、吟味し検討してみたいと思います
- *実施する教科の捻出と時間の捻出。担当者の教育（取得者の指導）
- *受験講習を行い、理解の程度をみている。外部講師を考えている。難しいと思わせないこと。
- *総合学科の福祉コースで考えている。来年度より建築科デザインコースになります。来年度より富士北稜高等学校としてスタートします。デザインコースとしてインテリアコーディネーターを受験させようと考えています。
- *インテリアコーディネーターの受験を考えている。

『3)に関する意見』

- *内容について検討しているが建築施工コースとしての資格としては、そぐわない面があるのではないかと考えている。
- *本科では、外部資格を認定する制度もあることから、この資格の効力、有効性により、受験をすすめることも今後はある。
- *数名受験したと申し出たが、科として対応はしていない。個人で対応（たぶん誰も受験しないと思われる。）

「すでに受験している」学校に伺います。（複数回答を含む）

- 1 受験学年**
- 1) 1年生 2校
 - 2) 2年生 9校
 - 3) 3年生 18校
 - 4) 4年生 1校
 - 5) 全学年 6校
- 2 対象**
- 1) 全員 1校
 - 2) 希望者 26校
- 3 受験時期**
- 春（6月） 14校
 - 秋（11月） 24校



4 学校としての取り組み

- 1) 受験の案内のみ 9校
- 2) 補習を実施している 10校
- 3) 授業で取り組んでいる 11校
 - ①科目名 *課題研究（11名）
 - *課題研究（資格取得のみを行っているわけではありません。）
 - *課題研究（班により6月が全員，11月は希望者としている）
 - *居住環境
 - *3年生については選択で約10時間
 - ②履修形態
 - 1) 必修 6校
 - 2) 必修選択 2校
 - 3) 自由選択 3校

5 教材は何を使用していますか？

- 1) 市販書籍 25校
- 2) 自主製作教材 3校
- 3) その他 1校

市販書籍名

- *福祉住環境コーディネーター検定 3級テキスト (東京商工会議所)
- *市販問題集
- *3級模擬問題集 (一橋出版)
- *福祉住環境コーディネーター3級短期合格テキスト (渡辺光子著)
- *3級福祉住環境コーディネーター受験短期仕上げと予想問題集 (彰国社)
- *検定試験3級完全マスター
- *3級徹底攻略問題集
- *「福祉住環境コーディネーター」3級【まとめと問題】:リックテレコム
- *個人購入
- *3級過去問題集 (自由国民社)
- *福祉住環境コーディネーター3級まとめと問題

自主製作教材

- *公式テキストをまとめた自作教材, 問題集

その他

- *過去問題集からテスト形式にして

6 指導教員はどのように準備していますか？

- 1) 講習会などで学んだ 0校
- 2) 独学で学んだ 21校
- 3) 教員自身の「福祉住環境コーディネーター検定」の取得の必要性について
 - 必要である 21校
 - 不要である 6校

7 教員は「福祉住環境コーディネーター検定」を取得していますか？

- 取得している 15校
- 取得準備中である 8校
- 得に対応していない 8校

8 生徒指導用教材に関する要望

- *福祉に関する用語集、目で見ても確かめる写真解説
- *問題集 (本試験の問題様式で) 5回分 (合否判定できるようなもの)
- *どのような教材を使ったらよいのでしょうか。教えてください。
- *実際の住宅改修や介護保険の適用例をわかりやすくまとめた資料が欲しい
- *生徒が独学でき理解できるレベルでお願いします。
- *生徒向けのもっと絵の多いわかりやすいものがあるといいと思う。
- *特に福祉分野に関してはわかりやすく絵を多用してほしい
- *福祉機器や福祉用具を紹介した写真, 実際に障害者や高齢者が利用している写真, 文章や図面だけでは分かりづらいので写真で見ても解説を読んで学習させたい。
- *あればあった方がよい
- *もう少したくさんさんの教材が安く手に入らないだろうか？
- *教材の入手が難しい (種類が限られてしまう)
- *高校生が理解しやすいような視覚教材がほしい。とくに、医学分野、福祉用具のもの

- *分野分冊
- *福祉住環境コーディネーター検定試験3級完全マスターの第1分野の解説が詳しいものが欲しい。
- *模擬試験問題などがあると良い
- *市販教材は量的にも多いのでポイント集約したものがほしい。
- *テキストや問題集を作成するようでしたら参考にしたい。
- *自主編成で安価なものができればありがたい

9 教員に対する研修会に関する要望

- *最新のバリアフリーを考えた施設の見学会及び体験。
- *一般住宅の見学（数多くの疾病の違いによる工夫が分かるように多ヶ所）
- *検定試験に向けての出題傾向を検討しながらの勉強会。
- *県単位での研修会は可能であるか
- *時間があれば参加したいが、なかなか時間帯が合わないのでは？
- *研修会や講習会などありましたら教えて頂きたいのですが。
- *教員研修会と教材開発を前向きに検討してほしい。
- *研修会は実施してほしいと思います。
- *教員が自分で取得する場合は特に研修会が必要ではないと思う。
- *福祉住環境コーディネーター3級の内容が分からない教員には有効だと思う。
- *内容はどうであれ、実施することに意味があるように思える。
- *積極的に参加出席したい
- *あるとうれしいです。
- *指導のポイント、方法に関するもの
- *お願いします。
- *介護保険に関することを主にとりあげてほしい。
- *住宅改修事例の見学等があれば参加してみたい
- *必要である
- *来年度でしたら、8月下旬で2日間程度でお願いしたい。
- *予算削減により、出張による研修会参加が困難なため、教材等作成して頂けるとありがたい
- *必要なし
- *地方での開催をお願いしたい

10 生徒からの要望

- *これだけは覚えてほしい〇〇項目といったような、ポイントを文章化したものが欲しい。
- *疾病名やその症状が理解できないので、どんな体の動きしかできないのかが分かるビデオがあるとよい。
- *4級があるといい
- *第一分野、第二分野ごとにまとめて挿絵が入っているものがよい。
- *直前に見るチェックリストがあるとよい。
- *少し難しいという声も聞こえる。
- *建築関係以外の内容が多いので難しいとのこと
- *他の資格試験と重なり集中して準備できなかった
- *生徒が独学でき理解できるレベルでお願いします。
- *分野ごとのドリル形式の練習問題を希望します。
- *八戸市にも受験地を設けてもらいたい。
- *学校の試験と福祉住環境の試験がほぼ同時期なのはちょっと困る。（しかたがないが）

D その他,自由に御記入ください。

- *独自の予想問題を5回分位作成してほしい。
- *今年度はじめての取り組みです。11月の試験に向けて、2学期にがんばらねばと思っております。
- *今年初めて取り組みましたが、継続していく予定です。
- *授業等で扱っている学校があれば、教材等で交流希望。このアンケートのまとめも頂き参考にしたい。
- *今年4月、教員の大幅な異動があり昨年の方があまり把握できていません。必要性、将来性の高い資格と考え、今後指導に当たりたいと考えています。資料があれば、また御連絡頂きたいと思います。
- *建築施工コースという事で施工を中心として考えていますので、今の所この資格を生徒に受験させる事は考えにありません。
- *3年間の学習で対応できる内容であるかどうか解らない。
- *高校で取得しての利点を聞かせて頂きたい。(実社会での利点…高卒で入社して企業で役立つのであろうか!)
- *資格取得については、実務経験の有無により、高校生が取得可能な資格が限られているのが現状であり、この検定は前向きに検討する意味がある。
- *「福祉住環境コーディネーター」の詳しい資料が無いので良く解りません。是非資料を送付して頂きたいと思います。
- *もう少し詳細な内容を理解したいと思っています。教員向けの研修会等を希望致します。
- *前述の通り、内容等他の資格とも合わせて検討中。
- *これからの時代は特に福祉に関する知識が必要となってくるように思われますので、感心はありますが、科としての取り組みは、今のところ未定です。
- *学校完全5日制になり、授業内容が精選されている。そのような状況で生徒達が社会に出て有益な資格なのか疑問に思われる。
- *資格取得については、今後校内でも検討していきたい。
- *総合的な面で見ると、建築分野での活用は大きいと思われる。資格=実務と考える必要はないが、建築分野の多岐にわたる創造性を培う上でも取得できれば良い。
- *福祉住環境コーディネーターは福祉系列で学習、インテリアコーディネーターは建築系が良いと思う。
- *福祉住環境コーディネーターは福祉系列で学習、インテリアコーディネーターは建築系が良いと思う。2004年より総合学科に改変されるので総合学科の科目としてインテリアコーディネーターを考えています。福祉住環境コーディネーターは福祉コースで扱うようです。
- *基本的には施工技術者試験(全員強制受験→全員合格目標)に全力を注いでいる。もしこの試験が中止になれば、「福祉…」を採用したいと準備(指導者研修)中である。しかし、カリキュラムの再編成が必要となり、すぐに取り組むことはむずかしい状況である(希望者のみ対象は可)。
- *他校の指導内容について詳しく教えてください。特に学年、いつから(時期)、授業時間か放課後の特別指導等についてお願いします。
- *今の生徒にとっては、オーム社から出ている「マンガでわかる福祉住環境コーディネーター2級」のような本があると親しみやすいと思う。(この資格が授業の柱として行うとき、全てマンガでは困るだろうが)
- *地方での資格が有効でないのが気がかりです。
全国的に適用する国家資格になればよいと思われませんが
- *高校生の合格率(3級)はどのくらいですか?関係資料があれば送付ください。
- *建築関係で2年生に受験させる資格はあまりなかったのととてもいい資格だと思います。
- *福祉と建築を結ぶ唯一の資格であり、また高校在学中に受験可能であるので、強力に取り組んでいきたい。

- *検定試験の過去問題を揃えたい。
- *科内での意見統一が図れていない。
- *今年度の受験を希望者対象に予定している。
- *昨年は2名合格
- *過去問ポイント集約自主制作教材等を作成する必要があると思う。
- *授業等で扱っている学校があれば、教材等で交流希望。このアンケートのまとめもいただき、参考にしたい。教材委員会で他に、このような研修や教材についてお知らせください。
- *今はまだ受験については全然考えていないが、これから生徒が取得したいという希望が出てくるようならば受験させていく方向で考えていきたいと思っている。
- *今まで学校で取り組んだ事がないので内容を検討し建設工学科の生徒に適当と思われるのなら受験させたい。その為の資料があれば送付してください。
- *今年4月、教員の大幅な異動があり昨年の方があまり把握できていません。必要性・将来性の高い資格と考え、今後指導に当たりたいと考えています。資料があれば、またご連絡頂きたいと思います。
- *資格取得指導については、今後校内でも検討していきたい。
- *多くの資格を取得することが大変によいことであるが、現状ではなかなか指導する時間が取れない状況である。この資格で十分な出口が確保できればよいが、そのような環境はできていない。
- *試験会場を弘前に設けた経緯があり、現在検定試験の監督をしている。常に最新のテキストを使用するように努めている。
- *この資格が社会でどのくらい認知されているのか、また社会に出て資格取得が現場でどのように活躍しているのか知りたい
- *建築科の生徒が在学中に取得可能な希少な資格であると思います
- *個人的には取り組んでも良い資格ではないかと思いますが、学校としては建築施工技術者の資格指導で手一杯で、新しい資格まで取り組む時間がありません。
- *既に取り組んでいる学校等の様子（問題点、効果など）について資料がありましたら教えて頂きたいと思います。
- *最近、検定や資格の種類が増加しているので、それぞれがどの程度有効なのか把握できなく指導方針が固まっていないのが現状です。
- *熱心に取り組んでいた職員の転出後、誰もその後を継げないでいるのが現状。誰もが指導できる状況にない。

IV. アンケートを集計して

今回のアンケートを集計してみて感じたことは、資格取得に対して就職に有利かどうか、学校としての取り組むか非かの判断になっているようです。しかし、今回取り上げた「福祉住環境」に関する内容については、就職に有利かどうかの判断基準ではなく、「超高齢化社会」をむかえる社会に生きる新たな常識としての知識を身につける必要性を提言するものであります。この事に対しての理解が難しいことを強く感じると共に、アンケートの目的が不明瞭であった事を強く反省しています。

V. 今後の取組み

- ・今後、教材委員会として取り組むにあたり実践校のカリキュラムを参考にしながら、会員各校が必要としているニーズを調査し教材化の基本骨子を作成していきたいと考えています。
- ・すでに受験している学校への追加アンケートを計画します。この結果を群馬大会の会場で、取組みの実践例としてご報告できるよう計画しています。

この資格試験を東日本建築教育研究会が推奨することの有無とは別に、ご意見やご要望等お寄せ頂き、皆さんが必要とする使いやすい教材の作成を目指したいと思います。宜しくご協力お願い致します。

最後に、東京商工会議所の担当者より、以下のコメントを頂いておりますのご紹介致します。

10代の合格率は8.1% (H14年度) で、高校生の分類はありません。また、3級の試験内容については、国民的な教養と位置付け、高校生にも普及促進が図れればと考えます。お力添え頂ければ幸いです。

(東京商工会議所 内田氏より)

アンケートにご返答頂いた学校一覧 (ご協力に感謝致します。)

※ゴシック文字は実践校

旭川工業高等学校	旭川工業高等学校(定)	小樽工業高等学校	札幌工業高等学校
苫小牧工業高等学校	苫小牧工業高等学校(定)	函館工業高等学校	函館工業高等学校(定)
帯広工業高等学校	釧路工業高等学校	名寄光凌高等学校	美唄工業高等学校
室蘭工業高等学校	留萌千望高等学校	北見工業高等学校	青森工業高等学校
弘前工業高等学校	十和田工業高等学校	私立 光星学院高等学校	久慈工業高等学校
古川工業高等学校	仙台市立仙台工業高等学校	能代工業高等学校	由利工業高等学校
山形工業高等学校	鶴岡工業高等学校	新庄神室産業高等学校	会津工業高等学校
私立 福島高等学校	宇都宮工業高等学校	宇都宮工業高等学校(定)	真岡工業高等学校
今市工業高等学校	小山北桜高等学校	那須青峰高等学校	前橋工業高等学校
高崎工業高等学校	高崎工業高等学校(定)	桐生工業高等学校	藤岡工業高等学校
館林商工高等学校	大宮工業高等学校	大宮工業高等学校(定)	川越工業高等学校
春日部工業高等学校	水戸工業高等学校	土浦工業高等学校	大宮工業高等学校
つくば工科高等学校	市川工業高等学校	葛南工業高等学校(定)	茂原工業高等学校
東総工業高等学校	京葉工業高等学校	私立 敬愛学園高等学校	私立 千葉経済大学附属高等学校
蔵前工業高等学校	蔵前工業高等学校(定)	小石川工業高等学校	小石川工業高等学校(定)
墨田工業高等学校	墨田工業高等学校(定)	葛西工業高等学校	田無工業高等学校
私立 日工大付属東京工業高等学校	私立 安田学園高等学校	向の丘工業高等学校(定)	甲府工業高等学校
甲府工業高等学校(定)	北富士工業高等学校	新発田南高等学校	三条工業高等学校
長野工業高等学校	池田工業高等学校	飯田長姫高等学校	羽咋工業高等学校
金沢市立 工業高等学校	武生工業高等学校	浜松工業高等学校	浜松工業高等学校(定)
島田工業高等学校	天竜林業高等学校	愛知工業高等学校	一宮工業高等学校
豊橋工業高等学校	碧南工業高等学校	名古屋市立 工芸高等学校	大垣工業高等学校
岐南工業高等学校	中津川工業高等学校	関市立 関商工高等学校	以上91校

「福祉住環境コーディネーター検定試験[®]」は東京商工会議所の登録商標です。

検定情報 ・ <http://www.kentei.org/> (東京商工会議所の検定試験)

講習会情報 ・ <http://www.fjc21.org/> (福祉住環境コーディネーター協会)

ご意見、ご要望、資料の提供をお待ちしています。

教材委員会委員長：小島 聡

E-mail:s.kjm11@chiba-c.ed.jp

千葉県立葛南工業高等学校 定時制 建築科

TEL:047-379-5631 FAX:047-370-1304